

## シビックテックチャレンジ YAMAGUCHI 2023 実証実験の概要

### <実証実験の内容>

#### (1) 目的

空き家調査アプリおよびデータベースを官民協働で開発  
→ 紙の調査票・台帳管理から、デジタルベースの仕事に進化

#### (2) 実施期間

令和5年9月～令和6年3月（現地調査：令和6年1月～2月）

#### (3) 協働企業

あっとクリエーション株式会社（大阪府）

### <現地調査の状況>

#### (1) 実施方法

タブレット端末にインストールした調査アプリを用いて実施  
非空き家担当を含む複数の職員が入力作業時間や使いやすさなどを確認

#### (2) 調査アプリの機能

空き家の状況入力（設問回答方式）、写真撮影・記録、位置情報取得・地図表示、データ集計など

### <実証実験の成果>

#### (1) 調査時間の短縮（50%削減）

調査結果を現地からデータベースに簡単に送信できるので、市役所に戻ってからのデータ入力を大幅に短縮化

#### (2) 地図との連携

空き家データと地図情報を一元管理することで、空き家の状況が一目でわかるように

#### (3) 調査用具の削減

タブレット端末のみで調査が可能のため、紙のチェックリストや地図、カメラなどの用具の持参が不要に

#### (4) 調査結果の集計

表計算ソフトなどを用いなくても、空き家データを簡単に集計し、グラフなどを作成することが可能に

<実証実験の様子>



<取組報告会>

令和6年3月14日 ニューメディアプラザ山口（山口市）

